

東日本大震災から10年 東北を描いたショートフィルム 『未来のカケラ / Pieces of the Future』で考える これまでとこれから

当時小学生だった原作者へのインタビュー記事を公開

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）および株式会社ビジュアルボイス（以下、ビジュアルボイス）は、2011年3月11日に起きた東日本大震災から10年となる今年、ショートフィルムを通じて今一度当時を思い出し、この10年間のことを振り返り、私たちが大切にすべきことは何か改めて考える時間を提案します。

震災は多くの命や財産を奪った災害であったと同時に、生き方や人生に大切なことを見直す機会になりました。

震災から5年後の2016年に制作されたショートフィルム『未来のカケラ / Pieces of the Future』は、政府広報室が実施した東北支援のキャンペーン「東北を元気にする作文 短編映画化プロジェクト」で最優秀作品に選ばれた、岩手県在住の岩間壮太さん（当時小学5年生）の「震災から4年と半年（感謝を忘れない）」を原作に、SSFF & ASIAがプロデュースしました。

撮影は、2015年12月に、原作者の岩間壮太さんが住む大槌町の仮設住宅や復興工事現場などで、町民の方々、復興作業に携わる方々などの協力のもと、行われました。

SSFF & ASIAでは、ビジュアルボイスが運営するブリリアショートショート シアターオンラインにてショートフィルム『未来のカケラ / Pieces of the Future』を改めて紹介するとともに、現在は16歳、この4月からは高校2年生になる、岩間壮太さんにインタビューを行いました。

『未来のカケラ』を改めて視聴し、物が壊れたとしても残り続ける「思い」の強さを感じたという岩間さん。一方で時間と共に薄れていく記憶をくいとめる「物」、長い間そこに有り続ける建築物の重要性を感じ、陸上競技部の活動の傍ら、建築について学ぶ大学の工学部進学に向けた勉強にも励んでいます。

インタビューでは、5年前、そして10年前と現在を比べて、被災地や岩間さんの家族にとっての変化はどうあったのか、高校生となった今、これからの10年へ願う気持ちについてお聞きしました。

ぜひご紹介いただけますと幸いです。

■東日本大震災から10年 ショートフィルム『未来のカケラ / Piece of the Future』で考えるこれまでとこれから

ページURL <https://sst-online.jp/magazine/9742/>



『未来のカケラ / Piece of the Future』 作品配信URL : <https://www.youtube.com/watch?v=c0nNvuP204I>

監督: 渡邊世紀 / 制作国: 日本 / 制作年: 2016 / ジャンル: ドラマ / 尺: 15:17

出演: 須賀健太 大島麻衣 塩野瑛久 栗山航 戸塚純貴 六平直政

【あらすじ】一軒家の建築現場。見習い大工の壮太はある日、棟梁の及川から一人でお客様の物置を造るよう命じられる。一人前の大工として認められるための初めての「お仕事」に、気合いの入る壮太。しかし、物置造りを進めていく中で、まだ会ったことのない施工主に対して、壮太にある疑問が湧く…。見習い大工としての何気ない日常から明らかになっていく、壮太が大工になった理由。そこには過去に自分と同じ痛みを背負った大切な人への想いが溢れていた…。

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

SHORTSHORTS

FILM FESTIVAL & ASIA

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生しました。

現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。また、2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の各優秀賞、最大4作品が翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

<https://www.shortshorts.org>

【株式会社ビジュアルボイス】



米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」のグループ会社として、世界のクリエイターと企業・団体の課題をつなぎ、新たなビジネスソリューションを創造しています。

<https://v-voice.jp/>



【ブリリア ショートショートシアター オンライン】

国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」が厳選したショートフィルムを毎週水曜日に配信しているオンラインシアターです。

2008年2月～2017年12月まで横浜みなとみらいで運営したショートフィルム専門映画館「ブリリア ショートショート シアター」のブランドを引き継ぎ、2018年2月にスタートしました。簡単な会員登録をいただければ、常時12作品ほどを無料で視聴いただけます。短い時間ではありますが、人間の優しさや強さ、豊かな人生のヒントを教えてくれる、素晴らしい映画を皆さんの日常にお届けするオンラインシアターをめざし、映画を暮らしに取り込むヒントになる記事も掲載しています。 <https://sst-online.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当：田中
TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail：press@shortshorts.org

【本資料に関する画像については、下記よりダウンロードいただけます】

https://drive.google.com/drive/folders/1xksxudxAxDduT15_nG-5-laJbEOnRK-?usp=sharing